

しこくおいしくまるく

まるく農園

百 歳 書 店

創業年

みかん農家としては三代目の園主。農家としては、この地で長く百年以上前から農業を
していたようです。ドライフルーツの販売は2020年からとなります。

先代の口癖

果樹栽培は自然相手に一年一作なので、リスク回避のために二〜三年暮らせるような蓄
えをしておくこと。

商品に対する想い

果樹農家が心を込めて作った果物を、より多くの人に楽しんでもらえるよう、保存のきくドライフルーツにしました。農家が生で食べても美味しいと思った果物を、一番美味しい時期を見極めて加工しています。

香川県特産のさぬきゴールドは生産量、流通量も少ないうえ流通期間も短く認知度が低いので、もっと多くの人に知ってもらいたいとの思いがあります。

続けてきたこと

先代も現在の園主も、味にこだわって生産しつづけています。果樹の職人だと思います。

変えたこと

農協に出荷するだけでは経営が厳しい現代の農業。農協メインの出荷をやめ、独自の販路を開拓し、農家として生き残る道を模索しています。

よかった決断

農協メインの経営から、独自の販路を持つことで経営が安定し、経営拡大にもつながったこと。

苦難

販路開拓をしていくうえで、軌道にのるまではもがく日々が続きました。

今後の展望

農業の高齢化の中で、地域の農業を守っていく必要があります。若手農業者として、耕作放棄地を任されることが増えてきているので、出来ることからやっています。耕作放棄地にはレモンを植えていっているので、加工品を含め、レモンの販路拡大が必須です。